



入学者はロシア語学およびロシア文学のいずれかを専門領域とし、その領域の範囲の中で研究テーマを決定します。ロシア語を使った議論の進め方に親しんでおくとともに、ロシア語の学術論文の文体に習熟しておく必要があります。

Students will choose either the Russian language or Russian literature as their specific area of expertise and decide their research topic within that area. Students also need to become familiar with the processes of research development, using Russian to acquire proficiency in the writing of academic papers.

授業担当専任 スタッフ Academic Staff Profiles

Elena BAIBIKOVA (エレナ・バイビコワ)
●准教授/Associate Professor

主な研究分野は翻訳研究である。ロシア社会・文化・文学を論題とし、翻訳の社会的文化的な諸相を見つめ、研究を進める。文化的な活動としての翻訳、翻訳者のアイデンティティ、翻訳と異文化コミュニケーションなどのテーマを対象にリサーチする。

Translation studies, Translator studies, social and cultural aspects of translation, Russian literature in translation

金子 百合子(かねこ ゆりこ) Yuriko KANEKO
●准教授/Associate Professor

主に現代ロシア語のアスペクトを研究対象とし、以下の課題に取り組んでいる。(1) 文法アスペクトと動詞語彙意味や接辞派生による語形成意味との関係性、アスペクトと隣接する語分野(テンス・モダリティ他)との相関性、テクスト構成上の役割といった側面から、アスペクトの機能意味分野を体系化すること、(2) 対照言語学的視点から、ロシア語と日本語のアスペクト表現における多様な個別言語的特徴を関連づけて体系化すること。

Modern Russian grammar, Aspectology, Word-formation, Contrastive linguistics



北見 諭(きたみ さとし) Satoshi KITAMI
●教授/Professor

ロシア文化史、ロシア思想史専攻
とりわけ、19世紀末から20世紀初頭にかけて哲学、文学、芸術、社会思想など、幅広い分野で生じた「ロシア文化ルネサンス」、「ロシア宗教ルネサンス」と呼ばれるロシア精神史上の重大な転換点を対象に研究を行っている。その目的は、この時代のロシアの知識人に特有の思考様式を明らかにすること、そうした思考様式が成立するうえで、何がその背後にあったのかを明らかにすることである。

Russian Culture, Russian Philosophy



藤原 潤子(ふじわら じゅんこ) Junko FUJIWARA
●准教授/Associate Professor

文化人類学的手法でロシア文化研究を行っている。主なフィールドは、ヨーロッパ・ロシア北部と東シベリア。現代ロシアの宗教状況、シベリアのロシア人社会、気候変動の地域社会への影響などについて調査を行っている。

Cultural anthropology, Russian culture

清水 俊行(しみず としゆき) Toshiyuki SHIMIZU
●教授/Professor

ロシア正教思想史および精神史の文脈から、ロシアにおける聖師父文獻の翻訳出版活動や修道院と世俗文学との交流を跡づけ、ロシア文化の靈性の発展を探ろうとする。

Eastern Christianity and Russian Literature

高橋 一彦(たかはし かずひこ) Kazuhiko TAKAHASHI
●准教授/Associate Professor

近代法史。
20世紀初頭に編纂されたロシア民法典草案の性格を共時性の相の下に、すなわち同時期に成立したドイツ民法典や世紀末フランスにおけるコード・ヴェールの展開を眺みながら、検討する。

Legal history, Russian civil law

最近の修士論文等のテーマ Recent Master's Thesis Subjects

- ・Опыт реинтерпретации глаголов перемещения в современном русском языке.
- ・Строительство литературы на белорусском языке - проблемы и факторы развития.
- ・雪解け期における社会現象としてのプラウト・オクジャワ
- ・Нижинский и его роль в русском балете
- ・ロシア語とモンゴル語における「情報」の意味を伴う動詞の語彙・意味グループの分析
- ・ドストエフスキーとナショナリズム
- ・革命期におけるマリナー・ツヴェターエワの思想と創作について
- ・「査察官」研究—僧称の歴史とそのアイロニー—

—神戸市外国語大学の修士課程を選んだ理由を教えてください。

以前から通訳になりたいと考えていたもので、神戸市外大のロシア語学専攻に入れば自分の夢にもっと近づけると思い、この大学を選びました。また、神戸市外大は通訳翻訳を勉強できる数少ない大学の一つであって、通訳翻訳を教えている先生の専門性もとても高く、いろいろ学ぶことができると思ったからです。

—入学する前と後で大学院に対するイメージはどのように変わりましたか？

大学院は厳しいイメージがありましたが、実際に入ったら全く違うと実感できました。もちろん難しい授業もあって、研究もうまくいかなかったこともありましたが、こういった時に、先生方に相談して、いろいろ手伝ってもらいました。専門の授業も少人数ですので、先生方は受講生の希望に応じて授業を進めてくださいますし、学生一人一人に与えられる

時間がたくさんあります。

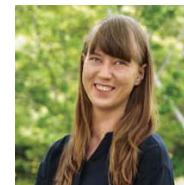
—修士課程進学を考えている方にメッセージをお願いします。

大学院のロシア語学専攻に入れば、ロシア語を勉強すると思いがちですが、ロシア語ではなく、ロシア語史、ロシア語文法学、通訳学などといった高度な学問を学びます。ロシア語学の専門性を高めたい人であれば得るものが大きいと思います。

—どのような学生生活を送っていますか？

1年生のときに必要な単位をほとんど取得しましたので、今は研究、アルバイト、部活、就活を両立しています。ちょっと忙しいですが、充実した生活を送っています。大学ではロシア語クラブというロシア語を学びたい人が集まり話す会があって、そこにも参加して楽しく過ごしています。

院生紹介 Message from a Student



ラシケヴィチ ナターリヤ (2年)
LASHKEVICH Nataliya